

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2019-110590 (P2019-110590A)

【公開日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-026

【出願番号】特願 2019-35865 (P2019-35865)

【国際特許分類】

H 0 3 F 1/02 (2006.01)

H 0 3 F 3/24 (2006.01)

H 0 3 F 1/32 (2006.01)

H 0 3 F 3/68 (2006.01)

【F I】

H 0 3 F 1/02 1 4 4

H 0 3 F 3/24

H 0 3 F 1/32 1 4 1

H 0 3 F 3/68 2 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 26 日 (2020.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力および R F 出力を有するシステムであって、前記システムは、
1 つ以上の R F 増幅器であって、それぞれは、R F 入力、R F 出力、および電力供給入力を有する、1 つ以上の R F 増幅器と、

前記 1 つ以上の R F 増幅器のうちの少なくとも 1 つの前記電力供給入力に電力供給電圧を提供するように結合された電圧制御ユニットであって、前記電圧制御ユニットは、伝送される信号の 1 つ以上の信号特性に部分的に基づいて、異なるレベルの中から前記電力供給電圧を動的に選択する、電圧制御ユニットと、

前記電圧制御ユニットに結合された前記少なくとも 1 つの R F 増幅器のそれぞれに結合された線形化システムであって、前記線形化システムは、デジタル予歪システムを備え、前記デジタル予歪システムは、レベル間の最後の遷移以降の持続時間によってインデックス化された訓練を行う予歪訓練システムを含み、前記線形化システムは、前記 1 つ以上の R F 増幅器のうちの少なくとも 1 つへの前記 R F 入力を予歪することによって、前記システムの線形性を改善し、前記印加された予歪は、少なくとも部分的に、電力供給レベルの選択によってインデックス化される、システム。

【請求項 2】

前記 R F 増幅器は、R F 電力増幅器として提供される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記 R F 増幅器の前記電力供給入力に印加される電圧が、レベルの離散セットの中から選択される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記 R F 増幅器の前記電力供給入力に印加される電圧が、第 1 のセットの動作条件のための電圧レベルの離散セットの中から、および前記第 1 のセットに含まれない他の動作条

件のための連続エンベロープトラッキングを提供する入力から選択される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記 1 つ以上の R F 増幅器のうちの少なくとも 1 つの前記電力供給入力の選択における変化による、前記システムの前記 R F 出力における外乱は、前記 1 つ以上の R F 増幅器のうちの 1 つの前記 R F 入力を介して導入される信号によって補償される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記システムは、第 1 の電力増幅器および第 2 の電力増幅器を有し、前記第 1 の電力増幅器の前記電力供給入力選択における変化による、前記システムの前記 R F 出力における外乱は、前記第 2 の電力増幅器の前記 R F 入力を介して導入される信号によって補償される、請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記補償信号は、前記 1 つ以上の R F 増幅器のうちの 1 つに対する入力のためのベースバンド信号内における付加的成分として導入される、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記補償信号は、前記 1 つ以上の R F 増幅器のうちの 1 つに対する入力のためのベースバンド信号内におけるデジタルデータに適用される倍数因子として導入される、請求項 6 に記載のシステム。